



# あのとときの常呂・写真館

VOL 34

(1962年)

昭和37年10月1日

## 老人クラブ一行、梅田温泉で一日を楽しむ

▶梅田温泉は、姉問排水機場（共立）を背にした向かい側の広い平地にあった温泉です。昭和34年5月、梅田保正さんが山の斜面で温泉（冷泉）を試掘し、300mほどパイプで温泉を引き、少しずつ建て増して造った施設でした。

沸かし湯の温泉でしたが、老人クラブの憩いの場、お花見など地域の人たちに親しまれ、昭和53年頃まで営業していました。（梅田保正さんの長女／高田まさこさん談）

今は更地となっていますが、かつて常呂町の人なら誰もが知っていた憩いの場所を簡単に紹介します。

▶昭和37年10月号の「広報ところ」では、老人クラブのレクリエーションとして、クラブ員56人が午前9時、梅田温泉に向け中央公民館前をバスで出発。梅田温泉では温泉を楽しんだ後、将棋を指したり、歌や民謡でのどを競い、持ち込んだ弁当やお酒でくつろいだことを伝えています。

\*左の地図は、昭和43年の「常呂町案内図」の一部



常呂橋

（その上部にあるのは湧網線の鉄橋）

旧朝日橋

「梅田温泉」の文字が見えます



\*昭和34年5月試掘し、パイプで冷泉を  
引き、ストーブで沸かしたお湯を湯船に  
はり、つかっている記念写真。  
梅田温泉スタートの写真です。

\*老人クラブの法的根拠「老人福祉法」(昭  
和38年8月)施行の1年前、常呂町で  
は昭和37年4月1日に最初の老人クラ  
ブ「長生会」が結成しています。

\*老人クラブの活動に位置づけられている  
レク活動、交流のの場として梅田温泉は  
利用されていました。



\*この写真は、昭和40年代前半のころだと思われます。

「貸し切り」なので、町が用意したものなのかもしれません。

バスの入口に集まるようすを「老人クラブの皆さん、順番にお乗りください」の  
キャプションがうまく表現しています。



### 梅田温泉

\*上の写真は、梅田温泉施設の全景。右端ののぼりは「明治アイスクリーム」、温泉客に人気だったそうです。右側の建物正面が入口で、2階はくつろいだり宴会用の大広間。廊下で結んだ左の施設は1階がボイラー室と浴場、2階は宿泊可能な部屋という造りになっていました。



\*左は昭和45年5月頃の梅田温泉と周囲のようす。手前に池が見えますが、手作りで魚を放していたとのこと。右側には花壇もあり、手作り感あふれる施設だったことがうかがえます。

▶梅田温泉は、昭和42年5月号の「広報ところ」の表紙に満開の桜の花の写真とともに「桜の花が真っ盛り、常呂にも梅田温泉という桜の名所がお目見え、花見客で賑わっています」と紹介しています。